

成果の説明書

(氏名) 友岡邦之	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>A 研究の進展状況</p> <p>(1) 科学研究費助成事業関連</p> <p>基盤研究(B)「文化政策における政策評価の制度、方法、指標に人文地を応用して構築する研究」(研究代表者:小林真理)の2年目であった。本年度は文化政策における評価の問題に深く関わるアーツカウンシル関連の研修会に参加して現状のResearchを行った。特に「アーツカウンシルネットワーク」を通じての情報収集により、文化事業の支援と評価の実際について理解を深めることができた。また、評価における定性的評価への応用可能性を検討するために、質的データ解析の手法について研究を行った。</p> <p>(2) 群馬県受託研究</p> <p>前年度に引き続き、群馬県が文化庁の助成を受けて行う新しい試み(戦略的文化芸術創造事業)について、その効果を試行的に検証する取り組みを行った。ただし、新型コロナウイルスへの対応により対象事業の多くが中止となり、検証業務の多くも変更を余儀なくされた。</p> <p>(3) 書籍(共著)掲載予定論文の執筆</p> <p>現在編集進行中の書籍に掲載予定の論文を執筆した。</p> <p>B 授業以外での教育上の取り組み</p> <p>(1) 大学院地域政策研究科集中講義科目「地域活性化特論」への協力</p> <p>高崎市で個人書店を営んでいる荻原貴男氏、富岡市で複数の地域づくり活動を進めている永田啓介氏の2名を講師とした講義をコーディネートした。</p> <p>(2) 本務校以外での教育業務</p> <p>a. 東京藝術大学大学院博士論文発表会でのコーディネーター役を担当。</p> <p>C 地域・社会活動</p> <p>(1) アーツカウンシル前橋</p> <p>前橋市が設立した「アーツカウンシル前橋」の統括責任者として、組織の運営に関与した。</p> <p>(2) アーツ前橋運営評議会</p> <p>アーツ前橋運営評議会の副議長として、同施設に対する提言を行った。</p> <p>(3) 群馬県文化審議会</p> <p>群馬県文化審議会の指針・基金部会座長として、県の文化行政の方向性に対し提言を行った。</p> <p>(4) 埼玉県文化芸術振興評議会</p> <p>同評議会の座長役を務めた。</p> <p>(5) 群馬県生活文化スポーツ部指定管理者評価委員会</p>	

同委員会委員として評価業務に従事した（新型コロナウイルス対応により評価対象事業が中止になり、一部業務がとりやめとなった）。

(6) 群馬労働局関連業務

同局の地方審議会、地域訓練協議会の座長役を務めた。

D 学内行政

(1) 地域政策学部長

学部長およびそれに関連する業務に従事した。

2 その他の事項

(1) 文化経済学会（日本）個人理事・学会誌編集長

(2) 日本文化政策学会個人理事

3 次年度以降の計画・抱負

学部長として大学組織の運営に貢献する。

研究面では、引き続き文化政策における評価制度の問題を中心的なテーマとして業務を遂行する。また、現在編集進行中の書籍（共著）を刊行する。